

大学院教育学研究科(ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・ポリシー)

21 世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化を始め社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す「知識基盤社会」と言われている。そのような社会にあって、大学院教育が果たすべき役割は益々重要視され、教育内容のなご一層の充実と実質化が強く求められている。

高度専門職業人の養成を目指す福井大学大学院教育学研究科は、このような社会的な要請を真摯に受け止め、学校教育専攻、教科教育専攻、教職開発専攻の3つの専攻において、それぞれ特色のある教育課程を体系的に組織し、実施している。

以下に示すものは、本教育学研究科が掲げるディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）とカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）である。修士の学位を得るための必要要件と教育目標・教育方針を明示し、教育の質を保証すると共に、教育内容の一層の充実と強化を目指すものである。

【学校教育専攻】

本専攻は、学校および地域における複合的な教育課題の解決に向かって、多角的に思考し、協働的に実践する専門職の養成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻の目的に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することおよび修士論文を作成・提出することが、修士の学位授与における必要要件である。
2. 学校とそれを取り巻く地域についての深い理解をベースに、以下の力量を培うことを求める。
 - ① 新たな学校教育の課題に対応する教職専門の資質と能力
 - ② 多様なニーズに応える学習支援を行う資質と能力
 - ③ 学校とそれを支える地域コミュニティづくりを推進する資質と能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 教育諸科学を学ぶことを通して、自らの教育実践の意味を理解する理論的な枠組みを獲得し、新たな実践を創造する力量を形成させる。
2. 複合科学領域としての特別支援教育を学ぶことを通して、特別なニーズのある児童・生徒の適切な理解、および包括的な教育的支援の力量を形成させる。
3. 地域科学を学ぶことにより、直面する課題を適切に把握する方法論を習得し、コミュニティ

の学習や活動を学ぶことを通して、コーディネートする力量を形成させる。

4. 「協働実践研究プロジェクト」においては、学内外の人々と協力・連携しながら、学校と地域の諸課題を実践的に研究し、複数の専門領域の視点を統合することによって、課題に適切に対応する資質と能力を向上させる。
5. 修士論文および課題研究を通して、共通科目および専門科目等で学習したことを統合し、生涯にわたって専門性を深めるための土台を築かせる。

【教科教育専攻】

本専攻は、21世紀社会を生き抜く力に必要な学力を培うための授業作り・教育内容開発・カリキュラム研究およびそれらに関連する支援を担い、優れた教育実践力を発揮できる教員あるいは教育専門家を養成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻の目的に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得し、修士論文等を作成・提出することが、修士の学位授与の必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿って、修了までに以下の知識・力量を身につけることを求める。
 - ① 専門教科に関する学問上並びに教育実践上の専門的知識
 - ② 教育実践に関わる理論に基づいた確かな教科教育実践力
 - ③ 専門的知識と実践力を基盤とする探究的研究能力
 - ④ 学校での協働的な探究を実現するための社会性と教育開発力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 領域別専門科目（教科に関する科目）の履修を通して、高い教科専門性を身につけさせる。
2. 教科教育研究の履修を通して、理論に基づいた確かな教育実践力を身につけさせる。
3. 「協働実践研究プロジェクト」を通して、学校や地域社会と連携しながら課題に適切に対応する能力と教育開発力を向上させる。
4. 課題研究の履修並びに修士論文等の作成を通して、探究的な研究態度と柔軟な思考力を身につけさせる。

【教職開発専攻】

本専攻は、学校で中核を担い、学習する教員集団を組織できるスクールリーダーの養成（スクールリーダーコース）と、幅広い教職教養を持つ教員として、職務の総体を理解し遂行できる教員の養成（教職専門性開発コース）を目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻が求める教職専門性の4つの資質能力を身につけ、基準となる単位数を修得し、「長期実践研究報告」を作成してラウンドテーブルにおいて公表し評価を受けることが、教職修士（専門職）の学位授与の必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿って、修了までに以下の資質能力を身につけることを求める。
 - ① 子どもと教師の学習と成長を支えるファシリテーター・コーディネーターとしての実践力
 - ② 学び合う教師の協働組織とその改革のマネジメント力
 - ③ 教育実践の質を不断に高め発展させていく省察・研究能力
 - ④ 公教育を担う専門職としての使命感と責任感

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 「理論と実践の融合」を実現するために、学校を拠点とする「協働実践研究プロジェクト」を中心に教育課程を編成し実施する。
2. 教職専門性開発を生涯にわたって支えるために、世代継承生成サイクルの視点から、教職専門性の4つの資質能力を培う教育課程を編成し実施する。
3. 学び合うコミュニティに公教育改革の支援システムを融合させた教育課程を編成し実施する。